

都市
基盤分野

産業分野

教育分野

産業分野

II

3 魅力ある交流の場の形成 観光交流の振興

現状と課題

金沢が培ってきた自然・地形やまちなみ、伝統文化、食文化等は市民だけでなく、観光資源として多くの観光客にも親しまれてきました。近年、小グループ・個人旅行の増加による観光形態の変化、外国人観光客の増加、団塊の世代が退職期を迎え、時

間と経済的ゆとりを持つ世代の増加が予想されています。こうした変化に加え、北陸新幹線の整備等も進むことから、今後は金沢の地域資源を活かし、魅力を高める観光を進める必要があります。



基本方針

「もてなしの力で育む文化交流の拡大」を基本テーマにこれからも魅力ある金沢であり続けるために、市民や事業者、関連団体が主体となって、来訪者をもてなす力（ホ

スピタリティ・パワー）を強化し、内外の人々との多様な交流を拡大するとともに、金沢文化に刺激を与え、新たな金沢文化の創造をめざします。

事業計画（主な事業とその内容）

〔伝統と創造のほんもの文化の提供〕

旅行者にとってのほんものの金沢文化とは、伝統文化や食文化、まちなみなどであることから、これらを磨き上げ、金沢の持つ「ほんもの」の魅力による集客を図ります。また、これら伝統に裏打ちされた文化を礎に新しい文化を生み出す取り組みを推進することで、金沢の新たな魅力の創出につなげていきます。

〔きらりと光る金沢のもてなし力の向上〕

市民が金沢に対する誇りや自信、プライドを持ち、金沢の魅力を知る機会を提供するとともに、市民のホスピタリティの醸成を図っていきます。

〔知的な集いの場の創出〕

金沢の地を新たな知的創造の場として位置づけ、金沢における教育・研究分野の交流を進めるため、コンベンション機能の充実を図るとともに、修学旅行や視察・研修等の誘致活動等も展開していきます。

〔世界との交流の拡大〕

海外からの旅行者は増加傾向にあることから、日本文化を代表する金沢文化を世界に発信し、海外における日本理解を促していきます。また、整備の進む広域交通網を活用し、周辺観光地と合わせた海外向けの情報発信・誘客PR等を展開していきます。

〔情報の収集と魅力の発信〕

国内外の旅行者が金沢に求めているニーズを把握し、求められている魅力を提供するため、マーケティング情報の収集と金沢の魅力情報の発信に努めます。

市民参加と協働

- ・観光ボランティアガイドまいどさんや市民ボランティア等による観光案内
- ・市民の来訪者に対するもてなし力の醸成
- ・民間のギャラリーや工芸ショップ等の連携による多彩な観光メニューの提供

都市
基盤分野

産業分野

教育分野

産業分野

II

3 魅力ある交流の場の形成

コンベンションの振興

現状と課題

交流人口増大の必要性が叫ばれる中、国際会議観光都市[※]としてコンベンションを開催することは、金沢市を国内外に発信する絶好の機会であるとともに、市民の学術・文化の向上にも大きな役割を果たしています。また、コンベンション開催による経済効果は大きく、本市の観光産業の発展

や活性化にも一役を担っています。今後、北陸新幹線の開通によって首都圏との交通事情が良くなり、コンベンションの誘致においてもさらに優位な状況になると思われます。しかし現在大規模な国際会議場がないため、国際会議・国際学会等を誘致することが難しい状況にあります。



観光会館大ホール

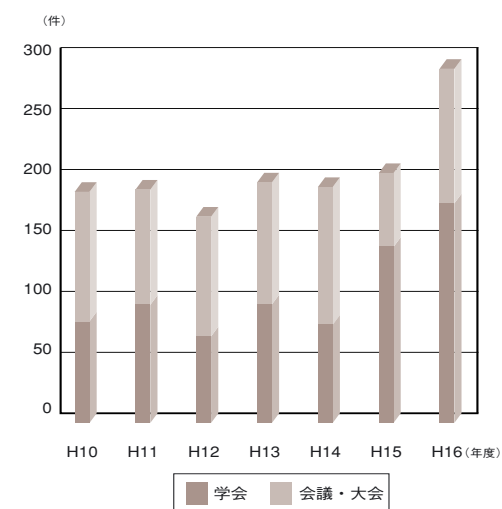


文化ホール大会議場

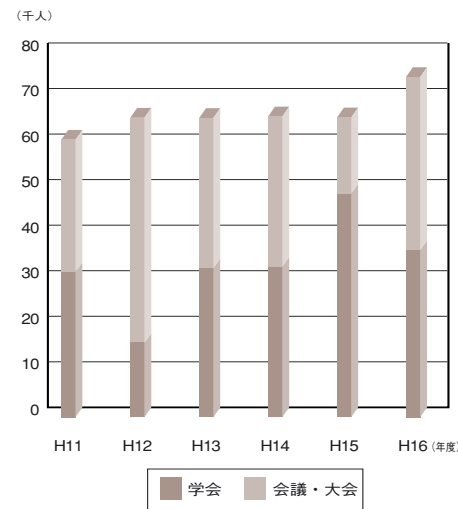


機械工業見本市金沢

開催件数の動向



コンベンション参加者数の動向



基本方針

金沢市を国内外に発信し、市民の学術・文化の向上を図るとともに、観光産業及び地域経済の発展・活性化を推進するため、コンベンションの誘致及び受け入れ体制の強化を図ります。

事業計画（主な事業とその内容）

〔国際コンベンションの誘致〕

コンベンション施設の整備を行うとともに、国際会議や国際学会等の誘致を積極的に行うことにより、国際会議観光都市・金沢の知名度を高めていきます。

〔産業観光の充実〕

インターネットを幅広く活用したアフターコンベンションとして、様々な産業分野における活動の一部体験や工場の視察ツアー等の産業観光を充実させていきます。

〔コンベンションと観光の連携〕

コンベンションの誘致と観光は一体のものであることから、広域連携も考慮に入れながら、コンベンションと観光行政の連携を図ります。

〔サポートシステムの強化〕

コンベンション開催にあたって、学会・大会等の主催者へのサポートシステムを強化するとともに、主催者がスムーズな運営を行える体制を整備していきます。

市民参加と協働

- ・民間企業等との協働による産業観光の充実
- ・市民ボランティアの参加によるサポートシステムの強化

[※]国際会議観光都市
平成6（1994）年に制定されたコンベンション法に基づいて、国際会議等の誘致の促進及び開催の円滑化等の措置を講ずることが国際観光の振興に資するものとして国土交通大臣が認定した都市。

都市
基盤分野

産業分野

教育分野

産業分野

II

3 魅力ある交流の場の形成

金沢ナンバーを活用した地域振興

現状と課題

金沢市・かほく市・津幡町・内灘町の2市2町で設立した「金沢ナンバー連絡協議会」を母体に、自動車の「金沢ナンバー」の普及推進を図るとともに、地域振興策や交通マナー向上策を進めることで、都市ブランドとしての「金沢」の知名度をさらに高めていくことが重要です。



金沢ナンバーキャンバスサポーターによる「サポーターズクラブ」のPR活動



金沢ナンバー特製ステッカー「マナー・リング」

基本方針

国、県、金沢市・かほく市・津幡町・内灘町の住民団体、自動車関係団体など29団体で構成する「金沢ナンバー連絡協議会」を母体に、2市2町が密接に連携して、金沢ナンバーの早期普及推進、交通マナー向上、地域振興・観光振興に向けた取り組みを進めるとともに、行政の枠を越えた広域観光ルートの開拓など、金沢ブランドの普及を積極的に推進します。

事業計画（主な事業とその内容）

〔金沢ナンバーの早期普及推進〕

金沢ナンバーサポーターズクラブの運動や2市2町の住民が参加・交流するイベントの開催など、金沢ブランドを後押しする気運を盛り上げ、金沢ナンバーの普及推進を図ります。

〔住民組織の広域連携による交通マナーの向上〕

金沢ナンバーの導入を機に、2市2町の交通安全やマナー向上に努める住民組織や活動等の広域的な連携を進め、交通マナー向上を図ります。

〔地域の素材を生かした地域振興、広域観光の推進〕

動く広告塔としての金沢ナンバーを生かし、2市2町の歴史、文化、自然など地域固有の素材や特産品、イベント等を全国に発信するとともに、広域観光ルートを設定して、観光客の増加をめざします。

市民参加と協働

- ・住民団体、経済団体、自動車関係団体との連携による金沢ナンバーの早期切替促進
- ・住民組織の広域的な連携による交通マナーの向上